



広報

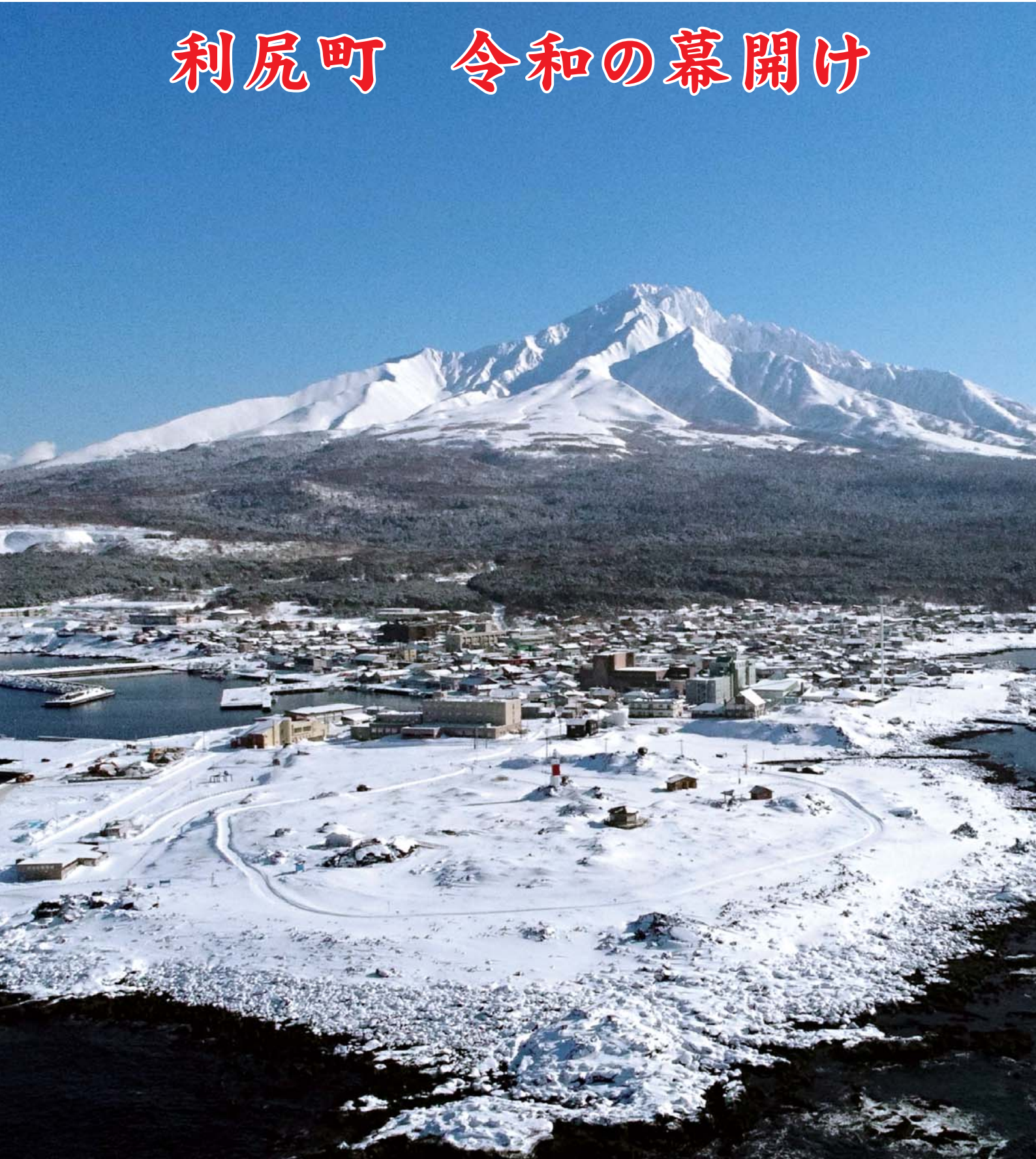
No.506
2020.3

りしり

開基120周年
記念号



利尻町 令和の幕開け



利尻町開基百二十周年

記念にあたって(式辞)



利尻町長
保野 洋一

本日ここにご来賓各位のご臨席をいただき、利尻町開基百二十周年記念式典を挙行できますことは、誠に感激の極みであり、町民等しく感動と歡喜にあふれております。

利尻町の生い立ちは遠く明治にさかのぼり、杵形が明治三十二年(一八九九年)七月鴛泊村から分村独立して杵形村となり、仙法志は翌三十三年(一九〇〇年)七月鬼脇村から分離して仙法志村となり、それぞれに戸長役場が設けられ開村したことに始まります。明治三十五年四月杵形・仙法志両村が北海道二級町

不撓不屈の精神とその功績に対し、深甚なる感謝の誠を捧げます。

わたしは、この意義ある記念すべき年を迎えるにあたり、過去の歩みを顧みるにとどまることなく、来るべき新しい時代に、今日までのためまざる歩みを、いかに活かしてゆくかを町民の皆さんとともに考えてゆく必要性を強く感じております。

まちづくりの第一歩をこの地にしるしてはや百二十年。

その間、明治、大正、昭和、平成の時代を経て、そして令和へと時代は移り変わりましたが、ふるさと利尻町に暮らす私たちは、この美しい自然に恵まれたふるさとで生まれ、ふるさとを愛し、ふるさとの発展を願ってやみません。記念すべき年にむけて利尻町は明日への飛躍を念願し、第六次総合振興計画を策定しました。

未来に向けたビジョンとして「今」を暮らすみんなが共に、「未来」を創造できる町』を掲げ、未来を実現するための基本理念を「共に生きる環境をつくり、守る」

「共に歩む未来を照らす」「共に助け合うコミュニティを育む」といたしました。

これまで築かれた先人の尊い遺産を礎として、歴史ある大いなる道を、私たちが更に未来へと繋がる確固たる道として、子々孫々に引き継いでゆかなければなりません。

新たな世紀に向けて、さらに厳しい試練が待ち受けているものとは思いますが、有人国境離島法が制定されるなど、国においても特定有人国境離島地域の存在が見直されてきている今日、国、道の支援も賜りながら、利尻町がこれまで培ってきた伝統の力を持って困難を乗り越り未来に続ける決意

で取り組んでまいります。結びに、本日、利尻町が今日まで発展を続けることができましたことにご尽力いただいた先輩諸賢、町議会、町民皆様、関係する様々な方に深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第であります。

また、記念式典におきまして、各功労者として顕彰されます各位のご労苦、ご功績に対し深く感謝の意を表します。

どうか皆さま、この記念すべき年を一つの節目として、利尻町が未来に向けてさらなる第一歩を踏み出すため、本日ご出席の皆さまはじめ町民皆様、関係各位の一層のご指導とご鞭撻をお願いすると共に皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げます。

令和元年九月十五日

利尻町開基百二十周年記念式典・祝賀会

令和元年九月十五日、午後一時三十分より利尻町立利尻中学校体育館において「利尻町開基百二十周年記念式典」が、三好雅北海道議会議員をはじめ関係団体から来賓及び町内外の関係者約百二十名の出席をいただき挙行されました。

記念式典では、田島順逸前利尻町長をはじめ、各分野において利尻町の振興発展に尽力された方々の功労を讃えて、感謝状及び表彰状の贈呈を行いました。

また、記念式典終了後、午後三時三十分より交流促進施設「どんと」において「記念祝賀会」が開催され、武部新衆議院議員よりご挨拶をいただいた他、利尻町観光大使の流氏とコーラス島の音による「記念祝歌」の披露等のアトラクションが催されました。

●記念式典



保野利尻町長式辞



三好北海道議会議員祝辞



朝倉宗谷総合振興局長祝辞



蔵議会議長謝辞



記念式典会場



感謝状及び表彰状贈呈



感謝状及び表彰状贈呈

● 祝賀会



祝賀会会場



武部新衆議院議員挨拶



アトラクション (流氏+コーラス島の音)



アトラクション (流氏+りしりん)



アトラクション (離島経済新聞社)



アトラクション (リーシリーボーイズ)

町民みなんで創りだす 未来への第一歩 開基百二十周年記念事業

●記念ロゴ・祝歌製作

利尻町開基百二十周年記念のロゴ・祝歌を製作しました！

様々な場面で活用され、開基百二十周年の年を彩りました。



●ふれあい乗馬体験事業

五月十九日、旧仙法志中学校グラウンドにて晴天のもと開催されました。会場には約五百名の島民が集まり、乗馬体験やエサやり、競馬大会を楽しみました。



●みどり豊かなまちづくり推進事業

利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会では、利尻町開基百二十周年を記念し、例年実施している「花いっぱい運動」のほかに「花株配布事業」「緑小公園整備事業」を実施しました。花株配布事業では町民皆さまからたくさんのご応募をいただき千五百株を配布、緑小公園整備事業では大火記念碑補修やりしりヒ



ナゲシの植栽などを実施し、花がいっぱいの潤いあるまちづくりを推進することができました。

また、「花つくりコンテスト事業」では「利尻町開基百二十周年特別賞」を設け、杵形日出町の森田勝弘さんが受賞されました。



●利尻町音楽祭

五月二十五日、利尻町交流促進施設ごとんと大ホールにて、利尻町音楽祭を開催しました。町内外の音楽団体など多数の出演者による演奏や、利尻町観光大使・流さんによる記念祝歌のお披露目が行われ、会場は大盛り上がりでした。ま

た、どんとロビーではFMわっぴーの公開生放送も実施し、イベントの様子の中継放送なども行われました。



●健康講演会

六月七日、「大切な腎臓を守るために」と題して、北海道医療センター腎臓内科医の柴崎先生にご講演いただいた他、減塩食品の試食や減塩食品が当たる抽選会を行い、百二十名を超える参加者に減塩の必要性を伝えました。



●桜植樹祭

六月八日に杵形・仙法志両地区にて実施しました。当日は約百五十名の方々にご参加をいただき、開基百二十周年にちなんで、エゾヤマザクラとチシマザクラを百二十本植樹しました。



●豊かな海づくり交流事業 (利尻みなとフェス)

六月三十日に利尻町及び利尻町活性化協議会が主催となり杵形港にて開催しました。焼き物のほか、ホタテ釣りやエステ体験等の出店、いそ舟漕ぎレースやニシン放流体



験など様々な催しが行われ、たくさんの方々と当日寄港していたにつぼん丸乗客の合わせて約四百名の来場者に楽しんでいただきました。

●りりりん特別

七月十日に日高町門別競馬場にて利尻町開基百二十周年を記念したレースである「利尻町百二十周年りりりん特別」が開催されました。

当日はりりりんも競馬場で多くの来場者と触れ合い利尻町のPRを行ったほか、優勝した騎手と調教師には特産の利尻昆布の贈呈を行いました。



●花火大会

八月十一日杵形港において花火大会が開催され、夏の夜空に二千発の花火が打上がり、訪れた町民や観光客らを魅了しました。開基百二十周年記念祝歌「約束の歌」や、「りりりん音頭」など音楽と花火の競演が続き、フィナーレには利尻町の未来を表現した大型花火が夜空いっぱいを飾り、会場からはひと際大きな歓声と拍手が沸いていました。



● **京都大学交響楽団コンサート**

八月十六日に利尻町交流促進施設とんとで約三百人の来場で行われました。

普段聞くことのできない迫力のある演奏に加え、コーラス島の音や利尻プラスチックタとのコラボ、小学生による指揮者体験など地域住民との交流もあり、盛り上がりを見せていました。



● **劇団四季利尻公演**

八月二十日、利尻町交流促進施設とんと大ホールにて、劇団四季利尻公演を開催しました。一般のお客さんを対象とした夜公演は、三百人を超える方が観劇され、素晴らしい舞台芸術に魅了されていました。また、公演の前日には劇団四季のキャストと交流ができるイベントも実施しました。

● **NHK公開録音「ラジオ深夜便」**

九月七日、利尻町交流促進施設とんと大ホールにて、NHK「ラジオ深夜便のつどい」公開録音を開催しました。



北海道増毛町出身のフランス料理シェフ三國清三氏による利尻の食材を使った料理コーナーや講演会、アンカーを囲むつどいが行われ、非常に楽しいひと時となりました。



● **宗谷管内市町村対抗軟式野球大会**

九月七日、八日に利尻町運動公園野球場で行われ、利尻町代表のスーパースターが



決勝戦で稚内市を破り、十三年ぶり四回目の優勝を果たしました。準決勝以降は全て延長戦となり、合計十九回にも及ぶ試合を制しての優勝でした。

● **生涯学習講演会**

九月二十七日に利尻町交流促進施設とんとで行われ、カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」代表理事の本橋麻里氏を迎えゼロからのチーム作り〜故郷から世界へ〜と題して講演を行っていただきました。カーリングとの出会いから、世界選手権・オリンピックで結果を出すまでに地域や周りのたくさんの方々の協力があり故郷を大切にすることの重要性など感銘を受けた講演となりました。



●利尻海藻押し葉・押し花
全国コンクール

九月に「利尻海藻押し葉・押し花全国コンクール」が開催され、利尻海藻押し葉・押し花作品集が発刊されました。島内外の愛好家、地元利尻島、道内・全国各地から百七十七点が集まり、作品集には



北海道知事賞はじめ、利尻町長賞など各賞、参加者全員が作品が掲載されています。

なお、作品集は利尻「島の駅」で見ることが出来ます。（特定非営利活動法人 利尻ふる里島づくりセンターより）

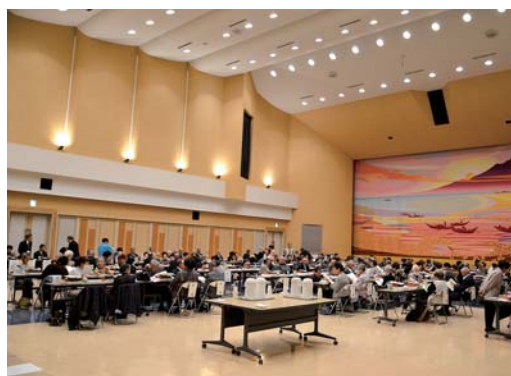
●北海道警察音楽隊・カラーガード隊演奏会

九月三十日 北海道警察音楽隊とカラーガード隊を招聘して演奏会が開催されました。音楽隊とカラーガード隊によるステージドリルは迫力があり、来場者をあきさせない楽しい演奏会でした。



●敬老会

十月四日、交流促進施設でんとにて、利尻町敬老会を開催しました。演芸ショーでは演歌歌手水田竜子さんの美声が披露され、会場は盛り上がりを見せていました。



●利尻町立博物館移動展示「資料からみる利尻の歩み」

十月一〜十四日、交流促進施設「どんと」および公民館にて、移動展示「資料からみる利尻の歩み」を開催しました。この展示では、利尻町に関する二百七十八点にも及ぶ実物資料の展示を行いました。来場した町民は、写真資料などを通して昔の利尻町を振り返り、懐かしむ場面も見られました。

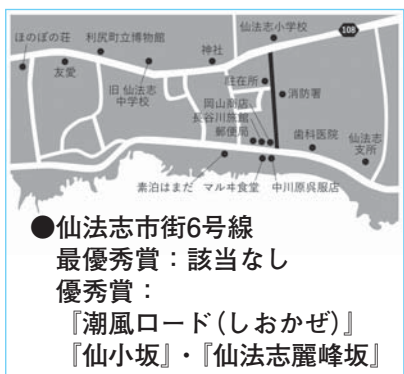


●町道愛称募集事業

利尻町開基百二十周年を記念し、町道をより身近なものに感じていただくため「杓形市街四十二号線」「仙法志市街六号線」を対象にした愛称を募集しました。募集には、町内や道外からの応募をいただき、その中から、次のとおり入賞作品を決定しました。



●杓形市街42号線
最優秀賞：該当なし
優秀賞：『呑涛来(街道)(どんとこい)』『棧橋街道』『にぎわい通り』



●仙法志市街6号線
最優秀賞：該当なし
優秀賞：『潮風ロード(しおかぜ)』『仙小坂』『仙法志麗峰坂』

●高齢者の生活支援体制整備に関する研修会



十一月七日、交流促進施設
 どんとにて、「住民と専門職
 が協働して創る支え合いのま
 ち」くこれからも安心して暮
 らし続ける利尻町にむけて」と題して、北星学園大学 社会福祉学部 福祉臨床学科 畑 亮輔 准教授にお話して

いただきました。自治会長をはじめとする町内関係者六十三名が出席され、高齢者を支える地域づくりについて学びを深めました。

●日本ハムファイターズ応援大使イベント

北海道日本ハムファイターズ百七十九市町村応援大使プロジェクトの対象市町村に決定し、十一月十九日に応援大使トークショーイベントを実施しました。参加された町民のみなさんが応援大使の近藤選手・浦野選手との交流の時間を楽しみました。



●デザインマンホール蓋製作事業

利尻町の開基百二十周年を記念して下水道のデザインマンホール蓋を製作するにあたり、町内小・中学校の児童・生徒のみなさんからデザインを募集しました。

募集には、全小・中学生である百十六名のみなさんから応募をいただき、選考の結果、利尻中学校一年川端琳央さんの作品をマンホール蓋のデザインとして採用することとなりました。

製作したマンホール蓋は、完成後町内小・中学校や公共施設の周辺などに設置します。



●ふる里利尻プロモーション

十二月二十一日、札幌市の離島キッチンにて「ふる里利尻プロモーション」を実施し

ました。島外で暮らす利尻町出身者や、利尻町ふるさと応援寄付へご寄付頂いた方など、利尻町に縁のある方や利尻を好きな方が一堂に会し、大盛況のイベントとなりました。



利尻町民憲章

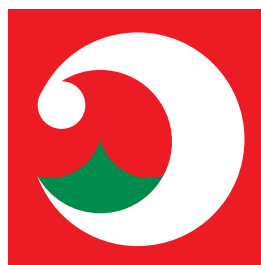
わたくしたちは、秀麗たぐいなき利尻富士がそびえ、礼文島を対岸に望むわが国最北端の利尻町民であります。わたくしたちは、このうつくしく、きびしい自然のなかで豊かな、住みよい町をつくることに、ほこりと責任を感じて、この憲章をきめます。

- 一、元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。

昭和44年12月20日制定

町章

昭和43年5月1日制定



遠く沖の方から、波の間に見える秀峰利尻山と、最北端のきびしさをあらわし、全体を円形にして町民の「和」を象徴したものです。

町名の由来

利尻とは、アイヌ語の「リイシリ」からでたものです。「リイ」は高い山、「シリ」は島の意で、即ち高い山のある島ということです。

町の花



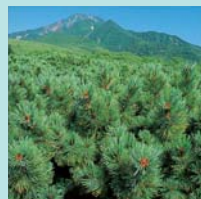
チシマザクラ

町の花



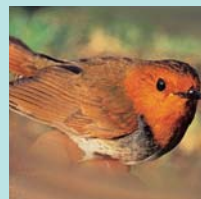
エゾカンゾウ

町の木



ハイマツ

町の鳥



リシリコマドリ

利尻町開基百二十周年 記念祝歌

『約束のうた』

作詞・作曲・歌／流(利尻町観光大使)

編曲／佐藤 互

朝陽に照らされた海の向こう
 きみはどんな夢を描いたの
 波間にきらめいたニシンの旗も
 待てど暮らせど何も届かぬ日も
 遙かなときを見つめている
 利尻の夕陽が見つめてきたように
 話しを聞かせてよ 遠い昔
 去ってゆく背中を見送った日を
 風が薫る春も 閉ざされた冬も
 行き交う人々の灯りとなれ
 若き力よ今 海に空に
 島の恵みを受け進んでゆけ
 変わらぬここで 見守っているよ
 ぼくらの利尻富士(ふじ)が
 見守っているから
 心配いらないさ きみの未来
 どんと岬に立ち 笑い飛ばせ
 美しい島を 巡りゆく想いを
 繋いでゆきたい
 今また約束のとき ああ
 新しい夜明けを きみと祝おう
 続いてゆく道を きみと話そう
 どこまでも続く 絶え間ない毎日
 輝けるように 誇れますように
 願い歩く この島で
 願い生きる この島で



この広報紙は道産間伐材を使用しています。

発行：利尻町役場 編集：まちづくり政策課企画振興係 印刷：(株)国境

TEL 0163-84-2345 FAX 0163-84-3553

利尻町公式ホームページ <http://www.town.rishiri.hokkaido.jp/rishiri/>

Eメール kikaku@town.rishiri.hokkaido.jp

(広報りしりに関するご意見ご要望は上記E-mailアドレスまでお寄せください。)

